

格安の事務スペース 市が起業創業を支援

松戸駅近くにオープン

アニメ、ゲームソフトなどのコンテンツやIT関連の起業・創業を目指す事業者に専用の事務スペースを低料金で提供し、支援する「松戸スタートアップオフィス」が4月、松戸駅近くのビルにオープンした。松戸市が整備し民間業者が運営する施設で、オフィス環境を共同利用できるスペースも併設する。

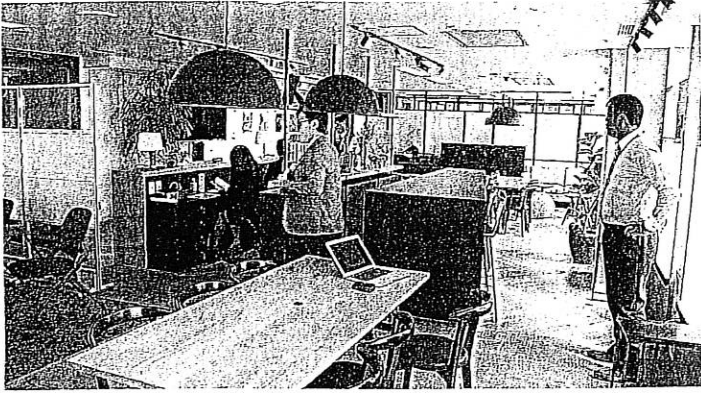
昨年まで伊勢丹松戸店が入居していた隣のビル13階に、市が約210平方メートルフロアを借りて整備した。松戸駅から徒歩4〜5分と近く、専用のスペースの利用料金は周辺の民間施設に比べて半分ほどという。「インキューション施設」と呼ばれる専用スペースは、個室と間仕切りされたブースの2種類。個室は6室、ブースは5個あり、机とイスを備える。料金は8平方メートルの個室で月額3万8千円、1.8平方メートルのブースで1万8千円など。いずれも24時間利用でき、事務所として登記も可能。小規模事業者にとっては住居との住み分けにも便利だ。

ほかに、共同で利用できるコワーキングスペースがある。30人ほどが利用できるテーブルソファのスペースがあり、利用時間は午前9時〜午後9時。1時間当たりの利用料金は300円で1カ月ごとの合計時間で精算する。月額5500円で事務所登記もでき、郵便物の受け付けもしてくれる。約20人が利用可能なミニセミナー室もある。

午前10時〜午後5時は常駐の受付担当者がいて問い合わせなどに対応する。電話対応など秘書業務を代行するオプションもある。

入居の条件はインキューション施設の場合、起業から5年以内か、近く創業の予定があるコンテンツやIT関連の事業者で入居期間は3年間。市商工振興課は「事業者が将来、大きく巣立っていくことを目指している」と話す。

コワーキングスペースの利用者については業種や期間などの条件はないが、いずれの利用も審査がある。問い合わせは同オフィス



13階の眺望のいい空間。手前が共用のコワーキングスペースで、奥が専用の個室とブース＝松戸市

（047-3302・6008）
（齊柳正悟）